

2015年5月11日
アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社

子どもの1歳の誕生日にお休みしたいパパ7割、お休みを取れないでいるパパは8割以上！
一生に一度しかない“初めての誕生日”をお祝いする
「**パパの公休日**」プロジェクトに参画
「パンパース」、「FQ JAPAN」、「ANA」、「ダッドウェイ」、
「レカロチャイルドセーフティ」、「ファザーリング・ジャパン」とともに立ち上げ

アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社（本社：大阪市中央区、社長：前田英広）は、赤ちゃんの健やかな成長を応援する乳幼児用紙おむつブランド『パンパース』が発起した「パパの公休日」プロジェクト(<http://papa-dayoff.com>)に、応援企業として参画したことをご案内いたします。

「パパの公休日」プロジェクトは、『パンパース』
の他、パパのための育児雑誌『FQ JAPAN』、日本で
唯一の5スターエアライン『ANA』、ベビーグッズの
企画・輸入・販売を手がける『ダッドウェイ』、100
年以上の歴史を誇るドイツのシート専門メーカー
『レカロチャイルドセーフティ』、パパの育児支援
を推進する『ファザーリング・ジャパン』が賛同し、2015年5月8日に発足した企業・NPO 法人横断型ブ
ロジェクトです。



当プロジェクトは、赤ちゃんの1歳の誕生日を、出産から大変な1年を乗り越えた“ママの1歳の誕生日”でもあり、頑張って育児をサポートしてきて迎える“パパの1歳の誕生日”でもあると考え、その「一生に一度しかない、初めての誕生日」に、生まれてきてくれたわが子はもちろん、1歳になったパパとママの誕生日を一緒にお祝いするために「パパの公休日」として、パパが仕事をお休みすることの推奨を目的としています。

パパの公休日プロジェクトのコミットメント：

- ・1歳未満の子を持つ父親に対して「パパの公休日」として有給休暇を1日取得することを積極的に働きかける。
- ・「パパの公休日」取得者が実践したことを社内外に公表し、父親の育児参加に関する休暇を取得しやすい世の中の雰囲気をつくる。

弊社は今後、「パパの公休日」として子どもの1歳の誕生日に会社から付与されている年次有給休暇1日を取得することを推奨してまいります。そして、「パパの公休日」を取得したパパの声を発信することで、「パパの公休日」という新しい記念日を社会に広げてまいります。

「FQ JAPAN」が同誌読者のパパ328人にアンケート※1を取ったところ、69.8%のパパは「お子さまの1歳の誕生日にお仕事を休みたい」と答えています。一方で、子どもの1歳の誕生日に休みを取らなかったパパは、82.3%にのぼりました。「パパの公休日」をきっかけに、日本中のパパが、さらに積極的に子育てに関わる機会を増やすことで、子どもの健やかな成長と発達を応援してまいります。

※1 調査対象：「FQ JAPAN」読者のパパ328名、調査方法：インターネット調査、調査実施期間：2015年3月26日～4月6日

【お問い合わせ先】

報道関係者：アップリカ・チルドレンズプロダクツ合同会社
マーケティングコミュニケーションズ PR 担当 山辺（ヤマノベ）
TEL：03-5259-6565 E-mail：wakana.yamanobe@newel.co.jp

【参考資料】

アップリカ・チルドレンズプロダクツについて

「アップリカ」と「グレコ」の2つのブランドから、ベビーカー、チャイルドシート、室内品などを展開する育児用品メーカー。「アップリカ」は、赤ちゃんのため、「赤ちゃん医学」や「育児工学」などの研究を通じ、理想的な育児環境を追求しています。この春には、ベビーカーと抱っこひもがセットで使える画期的な「キャリートラベルシステム」対応の新製品（写真右）を発表。「グレコ」は、「家族もっと楽しく！」をテーマに、ママの荷物問題を解決する大収納ベビーカーなど、新しい育児スタイルを提案しています。



■発起ブランド紹介



パンパース（プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン株式会社）

赤ちゃんの健やかな成長を応援する乳幼児用紙おむつブランド。日本では1977年から発売され、当時主流だった布おむつに変わり、紙おむつを日本に普及させ、以来赤ちゃんの健やかな成長を応援し続けています。今では日本の病産院で最も使用されています。

（P&G調べ）このたび、パンツ型おむつを10年ぶりに大幅に改良^{※2}し、新「パンパース ささらパンツ」として、2015年2月上旬に新発売いたしました。

※2 生産ラインを含めた製品・デザイン改良



■応援企業紹介



FQ JAPAN（株式会社アクセスインターナショナル）

「父親の子育て雑誌」として、世界の先駆け的存在であるUK発の「FQ」の日本版として2006年に創刊。『FQ JAPAN』は、子供との時間、妻とのパートナーシップを大切にするスタイリッシュで自然体な「DAD」たちを応援するためのライフスタイル情報誌。多様化する日本の父親の育児スタイルを、仕事・遊びと様々な角度から実例と提案を交えて紹介していきます。



ANA（全日本空輸株式会社）

1952年創業の日本の航空会社。航空業界における世界的な評価会社であるSKYTRAX社より、2013年から3年連続で世界最高評価「5スター」認定を受けている日本で唯一のエアラインです。お客様満足と価値創造で世界のリーディングエアライングループを目指し、日本のみならず世界のお客様に、日本の航空会社として心のこもったおもてなしを提供すべく努力を継続しています。今後も更なるプロダクトとサービスの品質向上に努め、世界のお客様に安全で高品質な空の旅を提供してまいります。



DADWAY® ダッドウェイ (株式会社ダッドウェイ)

1992年創業のベビーグッズに関する企画・輸入・販売企業。エルゴベビー、サッシー、ヌーク、オクソトットなど、取り扱うベビー用品のブランド数は50以上。お父さんの育児を、もっとおもしろく楽しみたい！をコンセプトとし、世界中から育児グッズ、知育玩具を探し出し、オリジナル商品を企画提案することで、お父さんの育児を積極的に促してまいります。



RECARO

レカロチャイルドセーフティ (レカロチャイルドセーフティ株式会社)

1906年にドイツで創業したシートメーカー。創業から100年以上の歴史を経て、さまざまな分野で安全で快適なシートづくりを手掛けています。レカロチャイルドセーフティは、ドイツ・マルクトロイガストに本社を置き、世界4か国に支社を持つレカログループの一部門です。レカログループには、レカロエアクラフトシーティングやレカロオートモーティブシーティングなどの事業も展開しており、グループ全体で2,000人以上の従業員が100年以上のシートノウハウを製品づくりに活かしております。



■特別協力団体紹介

Fathering Japan ファザーリング・ジャパン (NPO 法人ファザーリング・ジャパン)

講演・セミナー開催、企業や自治体のコンサルティングなど、父親支援事業を実施するNPO団体。「Fathering=父親であることを楽しもう」の理解・浸透こそが「よい父親」ではなく、「笑っている父親」を増やし、それが働き方の見直し、企業の意識改革、次世代の育成に繋がり、日本社会に大きな変革をもたらすということを目的として活動しています。

